

## 第 195 回 公益社団法人富山県医師会臨時代議員会議事録

1. 開催年月日 平成 30 年 3 月 22 日 (木)
2. 場 所 富山市蜷川 336 番地  
富山県医師会館 4 階会議室
3. 代議員定数 41 名
4. 出席代議員 38 名

1 番	藤森 正記	2 番	石坂 龍典	3 番	東山 考一
4 番	青山 圭一	5 番	毛利 英満	6 番	熊木 健雄
7 番	吉山 泉	8 番	舟坂 雅春	9 番	石田 陽一
10 番	片山 寿夫	11 番	大西 仙泰	12 番	八島 省吾
13 番	土田 敏博	14 番	高橋 英雄	15 番	<small>予備代議員</small> 高橋 秀親
16 番	八木 信一	17 番	鈴木 伸治	18 番	長井 正樹
19 番	前川 裕	20 番	麻生 伸	21 番	<small>予備代議員</small> 嶋尾 智
22 番	<small>予備代議員</small> 吉田 誠	23 番	松本三千夫	24 番	欠席
25 番	欠席	26 番	木田 和典	27 番	高橋 徹
28 番	北林 正宏	29 番	藤田 一	30 番	宮島 久仁
31 番	金粕 浩一	32 番	<small>予備代議員</small> 成瀬 隆倫	33 番	吉田耕司郎
34 番	宮崎 幹也	35 番	欠席	36 番	高木 義則
37 番	高嶋 達	38 番	藤井 正則	39 番	杉下 尚康
40 番	矢島 眞	41 番	井上 徹		

### 5. 出席役員

会 長	馬瀬 大助			
副 会 長	泉 良平	村上美也子	炭谷 哲二	
常任理事	種部 恭子	南里 泰弘	堀地 肇	長谷川 徹
	井川 晃彦			
理 事	道振 義治	金子 敏行	渡辺 多恵	平野八州男
	河合 晃充	鳥嶋 康充	大橋 直樹	川端 雅彦
	川口 善治			
監 事	佐藤 英敏	佐伯 俊雄		

顧問税理士 金山 順一

6. 職務のために出席した事務局職員

事務局長 了安 仁 他5名

7. 報 告

- 1 平成30年度富山県医師会事業計画の件
- 2 平成30年度富山県医師会予算の件
- 3 資金調達及び設備投資の見込みの件

8. 議 事

第1号議案 平成30年度富山県医師会会費賦課徴収の件

9. 開 会 午後7時30分

**開会の宣言**

議長（藤田）ただ今から、第195回富山県医師会臨時代議員会を開会いたします。議事日程に先立ち事務局に出席者を確認させます。

（出席者の確認）

確認の結果、代議員定数41名に対し、ただ今のところ出席者は36名でございます。定足数に達しておりますので、会議は成立いたします。初めに馬瀬会長のご挨拶をお願いいたします。

**会長挨拶**

会長（馬瀬）こんばんは。年度末の非常にお忙しい中、また、気温が下がりがして寒い中お集まりいただきましてありがとうございます。今日は臨時代議員会ということで報告事項が3件、議事事項が1件ということでございます。報告事項の中には予算も含まれております。予算は、以前は協議事項にございましたが、現在は報告事項に切り替わっておりますが、先生方ご意見あれば何なりと言っていただければ、再考することもやぶさかではございませんが、よろしくご審議お願いしたいと思っております。

**議事録署名人指名**

議長（藤田）議事に入る前に、本会定款第27条の定めにより、議事録署名人2名を指名することになっております。慣例により、議長から指名してよろしいでしょうか。

（異議なし）

議長（藤田）ご異議が無いようですので、指名いたします。

10 番 片山寿夫先生

38 番 藤井正則先生 をお願いいたします。

### 報告 1 30 年度事業計画に関する件

議長（藤田） それでは議事に先立ち、「報告 1 平成 30 年度富山県医師会事業計画の件」について、理事者からご報告をお願いいたします。

会長（馬瀬）平成 30 年度の富山県医師会の事業計画の件につきましてご報告いたしますが、事前に配布しておりますように非常に長うございます。前段の部分だけ読み上げさせていただきます。新専門医制度の運用が今年度から始まります。医療の質や安全を社会に示すためにも国民に理解されやすい制度が求められています。医療における専門家集団の自主的規範としてその内容の充実にも努めていかねばなりません。昨年 3 月に策定された富山県地域医療構想の内容とも一部関連いたしますので今後の運用に注目していく必要があります。富山県内で各専門医が偏りなく養成できるよう、さらに、医師の地域偏在による医療格差が生じることがないように努める事が重要と考えています。取得の困難が予測される必修共通講習の医療倫理、感染対策、医療安全については県医師会主催の講習会で取得できるようにしてまいります。昨年 10 月、国は働き方改革の方針を掲げ労働者の時間外労働の規制強化に乗り出しました。月 100 時間を超える時間外労働は人間の限界を超え、精神や肉体に過大な負担を与え事故の危険が増すことが証明されており、WHO も勧告を出しております。昨年より全国各地の大規模病院が労働基準監督署の立ち入り調査を受け、医師の時間外労働と不払い賃金等について指導や是正勧告がなされています。医師法における応召義務があるから時間外労働の超過は仕方がないとの議論は医師の人権を踏みにじる議論であるともいえます。また、不払い賃金を支払えば病院経営は破たんするとの議論は、日本の医療は医師のサービス残業で成り立ってきたことの証左といえます。本年度からの医療介護の同時改定では本体で 0.55%の増額で決着いたしましたが、本来ならば医薬品材料費で減額したものはそのまま本体に充当し、医師の人件費にあてるべきでした。また、医療費が高騰しているのは医療者側の責任のような一部マスコミの論調には同意できません。国民が受けている医療水準に比べれば医療費は決して高額ではありません。それほど増額を医療界が求めているわけでもありません。とはいえ今後も財源が限られている中、我々は地域医療を守り、医療・福祉の世界にこれ以上の格差を持ち込ませないように努力してまいります。国民皆保険制度は世界中から羨望のまなざしで見られている社会保障制度であり、これを今後どのように守

ってゆくかは、医療界だけでなく、あらゆる分野の方々の理解と協力を得て推進してまいらねばなりません。富山県医師会は県民がもとめる安心で安全な医療や介護や福祉を守るために以下の事業をひとつひとつ誠実に、丁寧に、積極的に実行してまいります。1番の「医の倫理の向上」から30番の「医師会の将来構想の検討」まで、30項目の多岐にわたって事業を行ってまいり所存でございます。よろしくご了解をお願いしたいと思います。

議長（藤田）ただ今の報告に関して質疑をお受けしますが、発言される方は挙手のうえ、議席番号とお名前をお願いいたします。何か質問はございませんでしょうか。

特に無いようでございますので、「報告1 平成30年度富山県医師会事業計画の件」を終わります。

## 報告2 平成30年度富山県医師会予算の件

議長（藤田）次に、「報告2 平成30年度富山県医師会予算の件」について、理事者からのご報告をお願いいたします。

常任理事（堀地）総務担当常任理事の堀地です。今から「富山県医師会予算の件」について報告させていただきます。まず、14ページをお開きください。正味財産増減計算書内訳表からご覧いただきます。公益目的事業の経常収益計1億8201万7740円、経常費用計1億9890万525円、その他の収入、これは医師信用組合からの寄付金ですけれども、500万円ありまして、正味財産の増減で517万6280円の減となっております。次に収益目的事業会計のほうをご覧ください。収益計、経常収益が3901万5千円、それから経常費用計が3541万3748円、合わせまして519万8053円の減となっております。それから法人会計は、経常収益計が5166万7260円、それから経常費用が5332万4137円で、それらを合わせまして正味財産の増減が165万6877円の減で、合わせまして1203万1210円の減となっております。では次の内部管理資料をご覧ください。ちょっと飛びまして、22ページのほうへ行って内容の説明をさせていただきます。会費収入につきましてはこのように上げてあります。12月1日現在の1,621名で計上してあります。22ページの一番下のほう、生命保険事務手数料、これが432万円、過去にはかなり高額だった時期もあるのですが、だんだん減りまして今回は51万4453円が減少と考えております。それから次のページの23ページの一番上、医賠償保険事務手数料、これの上の医賠償保険事務手数料の協同組合からというものに関しましては、協同組合で扱っている事務手数料のうち、こちらでいろいろ医事紛争の取り扱いをやっているために、その手数料として協同組合からいただいているものです。これは医療

事故調査制度やいろいろな医事紛争対策などの原資として使わせていただいております。それから学校心臓検診業務受託費、これは平成 29 年度から少しだけ増額になっております。真ん中よりちょっと下のほう赤い部分、医療機関 DV 対策強化事業受託費、これは 120 万で平成 29 年度から受託して、講習会等を行っております。感染性廃棄物処理対策講習会開催事業受託費、これは、平成 30 年度に感染性廃棄物の対策ということで現在計画させていただいております。次のページ、24 ページに行きます。一番上の都道府県医師会助成金というのは、会費に対してこのように割り戻しがあって、それが私共の原資となっております。県医師会の会費収入に対しても郡市医師会に同様の割り戻しをさせていただいております。それから 24 ページの下の方、雑収入のところ、会員名簿広告料が少し減少しております、このように計上しております。167 万 5 千円計上させていただいております。次のページに行きまして、25 ページの上の方、こちらにはいろいろな研修会の受講費とか負担金とか計上されております。25 ページの一番下、雑入の一番下の方になります。日本医学会参加登録費補助金、これが医師信用組合から 3000 円、医師協同組合から一人当たり単価 3000 円を 200 名ずつ計上しております。これにつきましては、これに更に県医師会から単価 9000 円を出しまして、一人当たり 1 万 5 千円を医学会総会の登録された方に補助しております。これにつきましては、会報にも現在載せておりますので、ぜひご覧いただいて日本医学会に参加していただければと思っております。専門医の単位などもここで結構救われることもあるだろうと考えております。では次のページへ行きまして、27 ページ、事業活動支出のほうへ移らせていただきます。27 ページの真ん中よりちょっと下、日本医学会関係費ということで、参加登録費補助金、これが一人当たり 1 万 5 千円かける 200 名を見込んでおります。これに関しては、早期割引で現在登録しますと一人当たり 2 万 5 千円の登録費となっておりますので、そのうちの 1 万 5 千円を助成させていただきたいと考えております。それからその下の県医学会、県医学会は年々盛んになってきていて、今年も 400 人以上の参加がありました。これに対する費用、これは一切コマーシャルを入れていませんので、これに対する費用として 133 万 5 千円を計上しております。次のページ、28 ページへ移ってください。28 ページの地域保健・健康教育対策費の委員会、それから医療安全対策費の委員会、そのようなものの委員会が 0 と計上してありますが、それぞれ長年開催されていなかった委員会を廃止したり、理事会や常任理事会に移したりして委員会費が 0 となっております。29 ページのほうへお願いします。29 ページ

には、支援団体統括者セミナーとか、下の方にあります、真ん中よりちょっと下ですね、倫理・治験審査委員会委員養成研修出席旅費などを計上しております。これは、医療安全とか医療事故調査とか医療倫理とかいろいろなものに対する研修会が中央で行われるものに対してこのように費用を計上しております。次のページをお願いします。30 ページです。30 ページの一番下、富山県在宅医療支援センター事業費でセンター設置・運営（コーディネーター人件費、設備費）860 万と書いてあってその横に 600 円減と書いてあるのですが、これは間違いで 60 万円の減です。平成 29 年度は 920 万円で、平成 30 年度は 860 万円で 60 万円の減となっております。次のページへ行きまして、31 ページ。こちらの方には、真ん中よりちょっと上ですね、情報通信機器を用いた死亡診断書等の取り扱いにかかる医療機関向け説明会というのを今回初めて計上しました。これは ICT による死亡診断が法制化されたことに伴い講演会をおこなう予定にしております。これにつきましては、5 月 26 日に富山で、5 月 27 日に高岡で開催予定となっておりますので、ぜひご出席いただければと考えております。それから 32 ページの真ん中へ行きまして、がん検診対策費の委員会費用 0 となっておりますが、これは特定健診委員会に統合したものです。それから、脳卒中登録情報システム事業費、これは少し拡充されまして、それに伴い委員も増となっているために費用も変更になっております。それから 34 ページまで行きます。感染症・院内感染対策費がちょうど真ん中ぐらいにあります。ここに獣医師会との学術協力費というのがあるのですが、これは、人畜共通感染症などの増加に伴い獣医師会と協定を結んで今後協力していこうということで、とりあえず 3 万円を計上させていただいております。それから 34 ページの下の方、乳幼児・学校保健対策費で赤字で書いてある全国学校保健・学校医大会出席旅費が少し増額になっております。これは平成 32 年度に学校保健・学校医大会が富山県で開催予定となっているためにその準備のためを見ております。次の 35 ページのほうをお願いします。35 ページの周産期死亡改善対策事業費につきまして、今まで新生児死亡の講習会を開催していたのですが、この次からは J-CIMELS ベーシックコースの開催に切り替えて、ちょっと費用が大きくなっていますが、新生児蘇生から母体救命に視点を移してこのように研修会を開催しようと考えております。36 ページの一番上の方をお願いします。36 ページの一番上に、若年者心疾患対策協議会費として総会出席旅費が少し人数を増加してあります。これは平成 32 年度に、平成 33 年の 1 月か 2 月頃に若心協が富山県で開催されることが決定したために少し人数を増やしてあります。それか

ら 36 ページの一番上のほう、若心協のすぐ下ですね、産業保健研修会費で北陸 3 県医師会基礎前期研修会 1 回が計上されています。赤字で書いてあるところです。これは北陸 3 県持ち回りで、そのうちの 2 県ずつが担当して研修会をやっていて、平成 30 年度は富山県が開催県になっております。4 月の上旬に行う予定で、会報にも申込書が入っていると思いますので、もし、産業医の資格をお持ちでない先生がおられれば、ぜひご参加いただきたいと考えております。それから、38 ページに行きます。上の方で、医療機関 DV 対策強化費ということで、平成 29 年度より DV 対策のための講習会を開催しております。次、41 ページまで飛びます。41 ページの真ん中の交付金・助成金、ここの医学・薬学祭というのは、富山大学医学部、薬学部の学校祭で、毎年 2 万円ずつ寄付させていただいておりますのでこれをそのまま計上しました。それから、ねんりんピック富山 2018 の広告協賛金 20 万円、これにつきましては、県から依頼がありまして、ねんりんピックの際に、人も出すしお金も出すということになるんですけれども、そのように広告掲載を計上しております。ねんりんピックを担当されたほかの県も調べましたが、ほとんどの県が医師会として広告掲載を出しております。41 ページの下のほう、赤字で書いてある給料手当の変更につきましては、今までは事業費 6 割、管理費 4 割で計算していたものを、事業がだんだん増えるのに伴いまして、事業費 7 割、管理費 3 割で計算するようになったために、このように計算上の変更だけです。次、42 ページをお開きください。42 ページ真ん中の給料手当も今と同様、事業費・管理費の分け方の差です。それから 44 ページのほうへお願いします。44 ページ、大きなところは電気料が少し上昇しております。これは平成 30 年 4 月から値上げが予定されているために合わせて計上を大きくしました。しかしなるべく節約していきたいと考えております。45 ページへ移ってください。45 ページの投資活動収入につきましてはここにありますように、富山市からの 300 万円の貸付金返済が全部終了しましたので、その分が無くなって、あと砺波市からの 35 万 7 千円ずつが平成 31 年度で終了となっております。次のページの 46 ページの投資活動支出をご覧ください。資産取得資金積立金としましては 2500 万円ほどを予定しております。役員退職慰労積立金、職員退職死亡給与積立金につきましてはこの通り計上してあります。で、下の方に行きまして、運営資金積立金、郡市医師会貸付金戻り収入がすべて運営資金積立金のほうに積み立てておりまして、昨年までは 335 万 7 千円だったのが、富山市の分が無くなって、35 万 7 千円ということで、それを積み立てます。この結果、事業活動収入と投資活動収入の合計が 2 億 9384

万1千円、事業活動支出と投資活動支出の合計が3億1858万4千円、この収入支出の収支は2474万3千円のマイナスとなっております。いつも言わせていただいているのですが、予算の段階ではいろんな行政から受けた事業があつて、それぞれについて予算配分してあるもので、それらも含めて毎回予算立ての段階で赤字、それで、それを何とか決算までに圧縮できるところは圧縮して黒字に持っていきたいと考えております。最後のページ、48ページ、一応これはあくまで仮の想定ですけれども、300万円の予備費をとりまして、次期繰越収支差額が2225万7千円と予定しております。以上です。

議長（藤田）ただ今の報告に関して質疑をお受けしますが、発言される方は挙手のうえ、議席番号とお名前をお願いします。何かご質問はございませんでしょうか。質問が無いようでございますので、「報告2 平成30年度富山県医師会予算の件」を終わります。

### 報告3 資金調達及び設備投資の見込みの件

議長（藤田）次に、「報告3 資金調達及び設備投資の見込みの件」について、理事者からのご報告をお願いします。

常任理事（堀地）「資金調達及び設備投資の見込みの件」についてご報告させていただきます。資金調達の見込みについて期中に借入れの予定はございません。それから、設備投資の見込みについて、期中に重要な設備投資の予定もございません。以上です。

議長（藤田）ただ今の報告に関して質疑をお受けしますが、発言される方は挙手のうえ、議席番号とお名前をお願いします。何かご質問はございませんでしょうか。特に質問が無いようでございますので、「報告3 資金調達及び設備投資の見込みの件」を終わります。以上で報告を終わります。

### 30年度会費賦課徴収の件

議長（藤田）それでは、議事に入ります。「第1号議案 平成30年度富山県医師会会費賦課徴収の件」を上程します。理事者の説明をお願いします。

常任理事（堀地）はい、議案について説明いたします。平成30年度富山県医師会会費賦課徴収の件について、会費はA会員、B1会員、B2a会員、B2b会員、B3会員、C会員、すべてについて今まで通りとさせていただきたいと思っております。

議長（藤田）ただ今の説明について質疑をお受けしますが、発言される方は挙手のうえ、議席番号とお名前をお願いします。なお、発言は議案以外にわたらないようご協

力をお願いします。何かご質問はございませんでしょうか。

特に質問がないようでございますので、採決いたします。第1号議案を原案のとおり可決することにご賛成の方は、挙手をお願いします。

(全員挙手)

議長(藤田) 挙手多数でございます。「第1号議案 平成30年度富山県医師会会費賦課徴収の件」は原案通り可決されました。

以上で本日の議事日程はすべて終了いたしました。馬瀬会長からご挨拶をお願いいたします。

#### 会長挨拶

会長(馬瀬) 報告事項、それから議案につきましてすべて承認していただきまして本当にありがとうございます。大事な会員からの会費でございます。丁寧に使わせていただきたいと思います。それから、事業計画の30番目に書いてあります、会館新築の件については、ちょっと今滞っておりますが、来年度中には目鼻が立つようにまたご報告したいと思っております。その際には建築資金、それから仕様等について先生方のご意見を伺う機会があるかと思っております。またご協力よろしくをお願いいたします。今日は本当にありがとうございました。ご苦勞様でした。

#### 閉会の宣言

議長(藤田) これをもちまして、第195回富山県医師会臨時代議員会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

10. 閉 会 午後7時57分

平成 30 年 3 月 22 日

議 長

議事録署名人

議事録署名人